

**ACTION**

アクションポーズ

**DETAIL**

各部ディテール

# MSM-04 ACGUY

PRINCIPALITY OF ZEON MASS PRODUCTIVE AMPHIBIOUS MOBILE SUIT

© 創通・サンライズ

MODEL NUMBER : MSM-04  
 HEAD HEIGHT : 19.2m  
 WEIGHT : 91.6t  
 TOTAL WEIGHT : 129.0t  
 GENERATOR OUT PUT : 1870kw  
 MATERIAL : SUPER HARD STEEL ALLOY  
 ARMAMENTS : VULCAN GUN  
 SIXTH MISSILE LAUNCHER  
 MEGA-PARTICLE GUN (VULCAN GUN)  
 IRON NAIL

※写真はバンダイプラモデルアクションポーズ1 (別売り)を使用しています。



**OPTION PARTS**

オプションパーツ

**REAR VIEW**

リアビュー



**COLOR GUIDE**

※よりリアルに仕上げたい方は、下の基本色をご覧ください。  
 ※塗装には、より安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。  
 ※ABS部分への塗装は破損する恐れがありますので、塗装はお勧めできません。  
 ※カラー配合は参考値であり、写真とカラーガイドの色は異なる場合があります。

●本体等： レッドブラウン (75%) +ホワイト (15%) +レッド (10%)	●腹部等： ウッドブラウン (40%) +レッドブラウン (40%) +ホワイト (20%)	●右腕メガ粒子砲等： ニュートラルグレー (40%) +RLMライトブルー-65 (40%) +エアクラフトグレー (20%)	●バックパック等： ニュートラルグレー (55%) +エアクラフトグレー (35%) +ネービーブルー (10%)	●頭部内部メカ等： ミッドナイトブルー (100%)	●モノアイ： 蛍光ピンク (100%)
---	---	--	--	-------------------------------	------------------------

1/144 SCALE  
**HG**  
 UNIVERSALCENTURY

BANDAI 2007 MADE IN JAPAN

●写真の完成品は塗装してあります。

0149604



### 警告 (けいこく)

保護者の方へ 必ずお読みください。

●小部品があります。誤飲・窒息の危険がありますので、3才未満のお子様には絶対に与えないでください。

### 注意 (ちゅうい)

●縁部が鋭い箇所がありますので、注意してください。●先端が尖っている箇所がありますので、注意してください。●部品はきれいに切り取り、切り取ったあとのクズは捨ててください。●袋を頭からかぶったり、顔を覆ったりしないでください。窒息する恐れがあります。

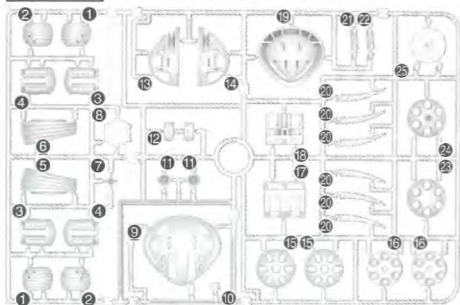
### 《組み立てる時の注意》

- 組み立てる前に説明書をよく読みましょう。
- 部品は番号を確かめ、ニッパーなどできれいに切り取りましょう。
- 塗装にはより安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。
- ABS部分への塗装は破損する恐れがありますので、塗装はおすすめできません。

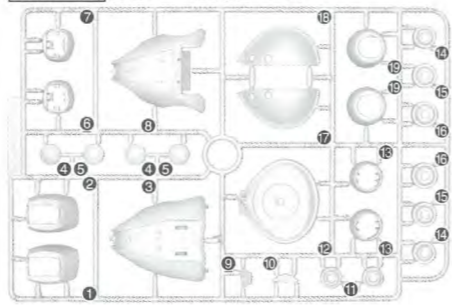
・鋭いものを使うところ	・シールの番号	・パーツの番号	・反対側に取り付けるパーツ	・両側に関しパーツを取り付ける	・向きに注意して取り付ける	・ビスの挿めすぎに注意
・切り取る時	・部品を数値の個数作ります	・先に組み立てます	・横に組み立てます	・向きに合わせて回転させます	・どちらかを選んで取り付ける	・反対側も同じように動きます

### パーツリスト (×印は使用しないパーツです。)

#### Aパーツ (スチロール樹脂: PS)



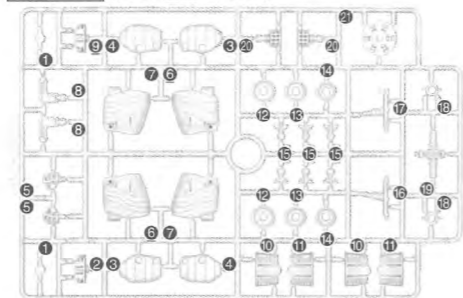
#### Bパーツ (スチロール樹脂: PS)



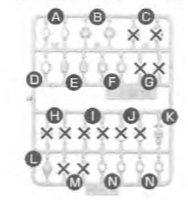
#### Cパーツ (スチロール樹脂: PS)



#### Dパーツ (ABS樹脂: ABS)



#### 〈PC-123プラス〉 (ポリエチレン: PE)



●シール.....1

### 1

### 2

### 3

### 4

### 5

### 6

### 7

### 8

### 9

### 10

※はめ込みがきつときは、大人の人に手伝ってもらいましょう。

**10** **×2**  
2個作る

※ミソに合わせます。

**11**

※ツメを各穴に通してください。

**12** **8**

※**8**の部分を押しえながらはめ込みます。(指等をはさまないように注意してください。)

**ツメ格納状態**

かくのうはうたい

みぎうでよう 右腕用ミサイル

**13** **8**

※**8**の部分を押しえながらはめ込みます。(指等をはさまないように注意してください。)

**10**

※凹凸を合わせます。

**19**

**20**

**ツメの可動**

※**C6**の部分を押しえながらはめ込みます。(指等をはさまないように注意してください。)

※**C6**の部分を押しえながらはめ込みます。(指等をはさまないように注意してください。)

※**C6**の部分を押しえながらはめ込みます。(指等をはさまないように注意してください。)

※**C6**の部分を押しえながらはめ込みます。(指等をはさまないように注意してください。)

**14** **×2**  
2個作る

PCN D8 PCN

※反対側に取り付ける。(向きに注意) **B4**

※きれいに切り取ります。 **C9**

**15** **×2**  
2個作る

D3 D5 D4 D6 D7 PCB

※奥までしっかりと、はめ込みます。

**16**

※上から見た図

※奥までしっかりと、はめ込みます。

**C2!**  
(向きに注意)

**17**

**18**

※上から見た図

※奥までしっかりと、はめ込みます。

**C1!**  
(向きに注意)

**21** **モノアイの可動**

※クリアー部品を外し、モノアイを動かします。

※クリアー部品を外し、モノアイを動かします。

**22** **08小隊版アツガイの再現**

※腕を外します。

**23**

※右腕を外したツメ

※左腕

# MSM-04 ACGUY

MSM-03 ゴッグの量産化に成功したジオン公国軍は、MSM-07 スゴックの開発に続き、小型軽量で調達容易な機体としてMSM-04 アッグイの開発に着手した。この機体は、多くの部品をMS-06J ザクⅡから流用し、複座式のコクピットが採用されているのが特徴で、水陸両用MSの訓練機としても使われたとされている。開発はジオニック社が行っていたが、同社においては流体推進エンジンの開発が難航していたとされている。そのため、アッグイの「航行能力」は決して高いものではなく、水陸両用MSというより、可潜MS、あるいは湿地帯や沼沢地専用のMSとでもいうべき運用例も多く見られる。また、出力を確保するため、ザクのジェネレーターを小型化して二基搭載していたが、水中航行時にはいずれか一基のみでも稼働できた。そのため、機体から発生する廃熱量が水陸両用MSとしては破格の低さとなった。これは、熱センサーに感知されにくいということであり、塗装剤とカラーリングにステルス性の高いものがデフォルトとなっているのは、その特性を戦術面でも有効に活用するためであった。かくしてア

ッグイは、水陸の偵察任務や斥候など、隠密性が必要とされる局面に多用されることとなった。ただし、ゴッグやスゴックなど、他の水陸両用MSに比べ、航続距離や水中での機動性には多少の問題を抱えていたとされ、母艦との連携が必須となってしまっている。それでも、陸上における機動性は非常に良好であり、移動速度はもとより、跳躍しながらの移動も可能であるなど軽快な運動能力を誇る。特に新しい技術が必要とされたぶん早く完成し、生産時期や工廠によって形状にも異同がある。実戦配備もスゴックより早期に実現したため、ゴッグに次ぐMSM-04の制式ナンバーが与えられた。調達も容易だったため各地に配備されており、東南アジアのとある前線においては「ガンダム」タイプと互角の戦闘を繰り広げた」とする資料も存在する。さらに、その生産性の高さから、比較的初期の段階で、地球連邦軍の本拠地であるジャブローの攻略を視野にいれたバリエーション機なども開発されていたようだ。



バックパック

**フレキシブル・ベロウス・リム**  
アッグイのものは肩から肘まで。基本仕様は左右に機関砲とクロー/6連ミサイルランチャーを配置するが、入れ替えや別のユニットの装備も可能。

### バルカン砲

クローの収納機構の中央に配置された機関砲。

### メガ粒子砲

採用/開発計画および、数機の実装例を示す資料が存在する。

### アイアン・ネイル

6本のクローで敵に新撃や打突を加える。簡易マニピュレーターとしても機能する。

### SPEC

- 型式番号：MSM-04
- 全高：19.2m
- 本体重量：91.6t
- ジェネレーター出力：1870kw
- 装甲材質：超硬スチール合金
- 武装：頭部バルカン砲
- 6連ミサイルランチャー
- 腕部メガ粒子砲(腕部バルカン砲)
- アイアン・ネイル

**頭部バルカン砲**  
105mm口径のバルカン砲を頭部に4門装備している。



**6連ミサイルランチャー**  
6基のミサイルを内蔵する。ザクが脚に装備する3連ランチャーに近い。



脚部ユニット

**1** **A** **B** **C**

**2** **×2** **2** **3**

※凹凸を合わせ、しっかりとはめ込みます。

※きれいに切り取ります。

※凹凸を合わせ、しっかりと はめ込みます。

※きれいに切り取ります。

※凹凸を合わせ、しっかりと はめ込みます。

※きれいに切り取ります。

※はめ込みがきつときは、大人の手に手伝ってもらいましょう。

**2** **3**

**両腕が伸びた状態**

※22を参考に両腕を外しておきます。

**腕の曲げ方**

※腕をひきのぼしてから曲げます。

**腕の外し方**

※色の部分を押しさえながら外します。

**3** **4**

**片腕が伸びた状態**

※22を参考に右腕を外しておきます。

※パンダイプロモデルアクションベース1(別売り)②差し込み用BA3-B1①

## MSM-04 アッグイ

MSM-04 アッグイは、TVシリーズ「機動戦士ガンダム」および劇場用作品「機動戦士ガンダムⅡ 哀・戦士編」、OVA「機動戦士ガンダム 第08MS小隊」などに登場する水陸両用量産型MSである。U.C.0079年11月30日、地球連邦軍の本拠地であるジャブローに対するジオン公国軍の一大攻勢が始まった。一方、シャアを指揮官とする特務MS部隊は、赤いスゴックと数機のアッグイを持ってジャブロー基地に潜入し、基地内部からの破壊を目論む。地球連邦軍の監視トーチカに全く気付かれぬまま接近し、これを破壊したアッグイはスゴックとともに、まんまと基地内部に潜入する。途中、迷い込んだ子供たちをやり過ごした特務部隊は、目的のMS工場の間近にたどり着いた。「やりますか？大佐」「無論だ」アカハナにシャアが答え、各員に命令を下す。「ラジム、お前の班はここに仕掛ける」「はっ」「私とアカハナの班は木馬のドックに向かう」。さらに奥の宇宙船ドックに向かったものの、あと一歩のところまで連邦兵に見とがめられたシャアとアカハナは脱出を余儀なくされる。そこに別班の爆弾の轟音が轟いた。「…フッフ、ラジムの方は派手にやったようだな。シャアはこれが子供たちの活躍で廃棄された爆弾の音だとは知る由もない。「イワノフ、聞こえるか？」「は、はい、シャア大佐」「こちらは失敗した。アッグイを出して注意をそらしてくれ」シャアの要請に応え、待機していたアッグイは、陽動のため坑内から脱出路を目標して行動を開始する。ミサイルとビーム砲の閃光がジャブローの坑道を満たす。果たして…!!



●写真はイメージです。